

# 徳島県：外国人介護人材研修 (技能実習・特定技能向け)

県は介護現場の受入れと定着を目的に、  
技能実習・特定技能等の外国人を対象とした研修を案内。  
日本語でのコミュニケーションや介護基本、  
生活・文化理解などを含む実務的な内容。  
参加条件や申込方法、開催日程を公開し、  
事業所の担当者向けの説明資料も掲載。  
職場のOJTと連動し、早期戦力化を後押しする。  
地域の介護人材確保と質の向上を狙う施策だ。

25.01.09



TAC 徳島校

令和6年度徳島県外国人介護人材研修事業 - ...

# 広沢自動車学校： ベトナム大手教習所と戦略協定（特定技能ドライバー）

25.03.03

同校はベトナム大手教習所と戦略協定を締結。  
自動車運送分野の特定技能に対応した、  
人材育成と受入れ支援の仕組みを整える。  
現地での基礎教育と来日後の技能定着を連携し、  
企業の運転者不足解消に寄与する狙い。  
安全教育・日本の交通法規の理解も重視。  
企業・自治体と連携した研修モデルを示し、  
地域物流の維持に資する取り組みだ。



 PR TIMES

2025年から本格化する特定技能(外国人ドラ...

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000067972.html>

# 徳島大学：留学生受入促進プログラム (奨学金)募集案内

JASSO系の奨学金枠を活用し、  
留学生の受入れを後押しするプログラムを告知。  
応募資格、提出書類、スケジュールを提示し、  
学内の相談窓口を明記した。  
家計・成績要件や在留上の注意点にも触れ、  
公平性と透明性を確保する内容。  
採用後は学修・生活の両面で支援を行い、  
地域就職や進学にもつなげる。



徳島大学

徳島大学 高等教育研究センター学修支援部門国際教...

<https://www.isc.tokushima-u.ac.jp/scholarship/17011/>

# テトラ・シフト： 特定技能（自動車運送）eラーニング教材を発売

特定技能『自動車運送業』向けの教材を提供。  
運転基礎、法令知識、安全確認などを網羅。  
多言語対応のeラーニングで学習を支援し、  
ドライバー採用から定着までの負担軽減を図る。  
テスト機能や管理画面で進捗可視化が可能。  
企業内研修や受入直後の教育に適用でき、  
法令遵守と事故防止の実効性向上を目指す。  
導入方法・価格・問い合わせ先をリリースで案内。

25.05.27



 PR TIMES

特定技能（自動車運送業）の関係者必...

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000018.000044326.html>

# 徳島大学：外国人留学生奨学金の授与式を開催


大学は6月初旬、外国人留学生に対する奨学金の授与式を学内で実施した。採用学生の学修意欲を称え、指導教員・事務局も同席して激励。生活・学修支援の一体運用を確認し、地域社会との交流機会の提供も表明。留学生の活躍を可視化し、受入れ拡大へつなげる発信となった。



# 徳島労働局：6月は『外国人雇用啓発月間』です

労働局は6月を啓発月間として、  
 企業向けに適正雇用の周知を行う。  
 届出の義務や雇用管理の留意点を案内し、  
 相談窓口やセミナー開催を告知。  
 在留資格と就業内容の適合確認を促す。  
 多言語リーフレットで情報提供を強化し、  
 企業・支援機関との連携を呼びかける。  
 不適正事案の防止と定着支援を目指す施策だ。



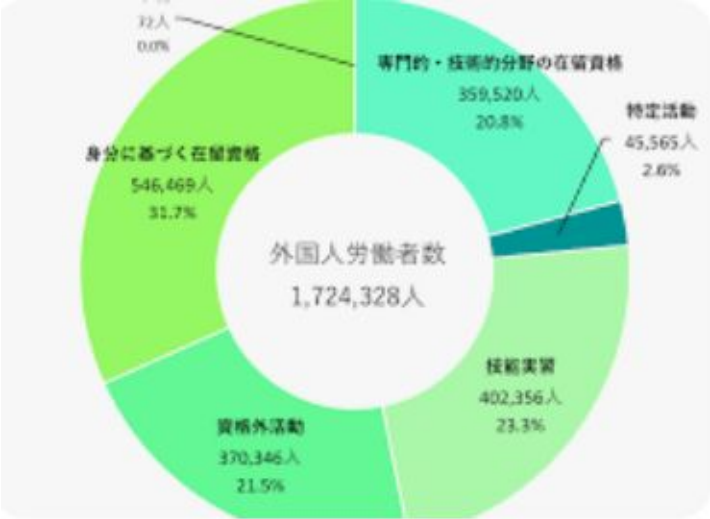
 都道府県労働局(労働...

6月は「外国人雇用啓...

[https://jsite.mhlw.go.jp/tokushima-roudoukyoku/2025\\_1.html](https://jsite.mhlw.go.jp/tokushima-roudoukyoku/2025_1.html)

# 厚労省・入管庁：監理団体処分 (徳島県藍協同組合の許可取消し)

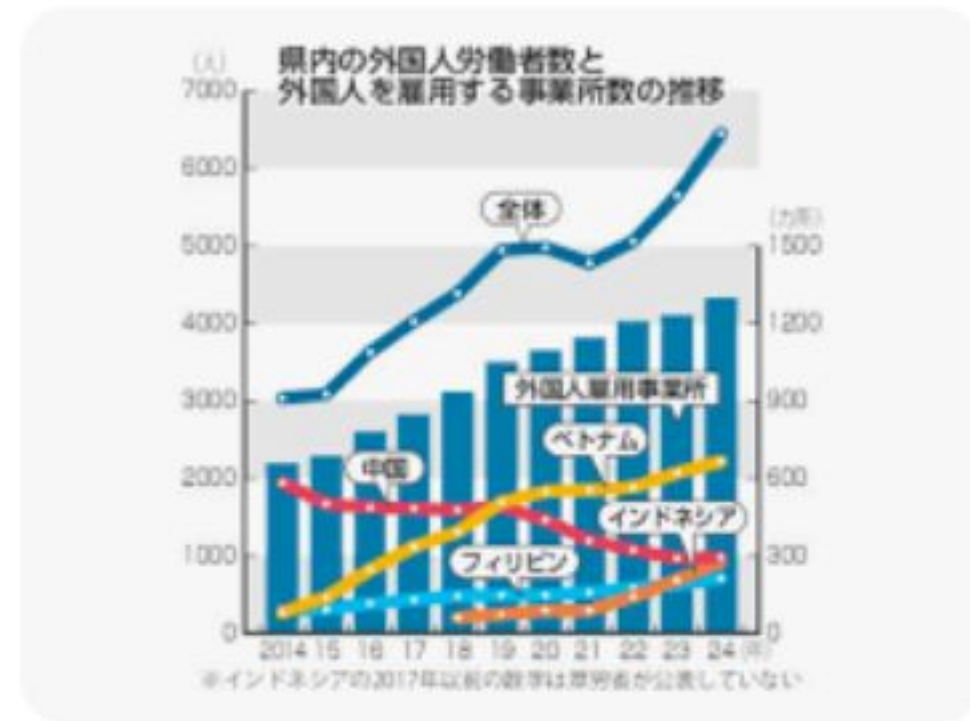
厚労省・入管庁は、監理団体に対する処分を公表。  
『徳島県藍協同組合』の許可を取り消した。  
監理不適正などの事実を認定し、  
技能実習制度の適正化を徹底する方針。  
再発防止へ監督強化と情報公開を進める。  
受入企業は代替の監理団体の確保が必要で、  
実習生の保護と就労継続に留意が求められる。  
制度運用の信頼性回復を狙う措置だ。



④ 連合総研  
連合総研

# 朝日：徳島の外国人労働者が過去最多（6,452人）

県内の外国人労働者数が6,452人と過去最多に。  
 人手不足の製造・サービスが増加を牽引した。  
 在留資格は技能実習・特定技能が伸び、  
 受入れ拡大と定着支援が課題と指摘。  
 企業・自治体の支援策が広がる一方で、  
 日本語学習や住まい支援の需要も高まる。  
 労働局統計や県の施策に言及し、  
 地域経済の担い手としての存在感を示した。



徳島新聞

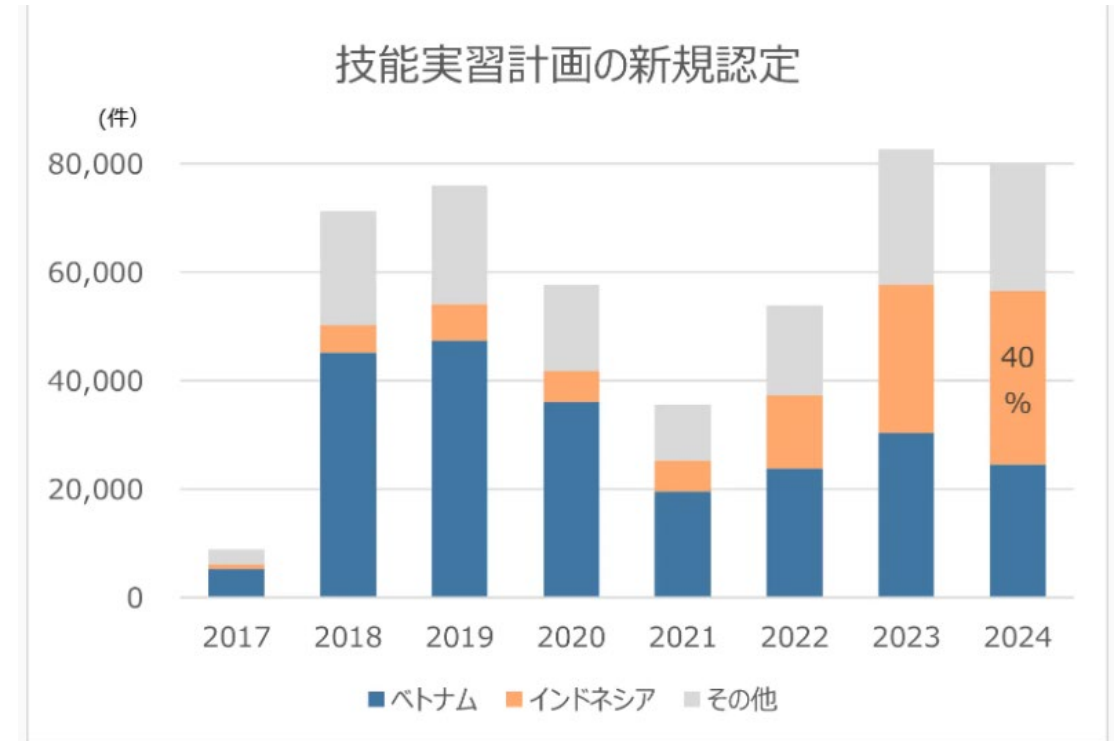
徳島県内の外国人労働者、過去最...

<https://www.asahi.com/articles/AST4H41LVT4HOXIE032M.html>

# 技能実習計画の新規認定、 インドネシアが初めて最多に

2025.10.20

外国人技能実習機構（O T I T）は、2024年度の技能実習計画の認定状況をまとめた。建設関係の新規認定7万9942件を国籍別に見ると、インドネシアが3万2053件となり、技能実習制度の開始以来、初めて最多となった。これまで最多だったベトナムは2万4490件で2番目。インドネシアは国外への人材送り出しに積極的で、日本の建設業がこうした人材を引き続き獲得できるかが注目される



# 【四国第1号】物流の担い手不足解消に向け、 四国初の特定技能外国人ドライバーが 徳島・誠徳運輸に着任。

2025.12.29

特定技能外国人支援を展開する株式会社シンク・スリー（本社：徳島県徳島市、代表取締役：祖川嗣朗）は、登録支援機関として受入れを支援する外国人材について、誠徳運輸株式会社（本社：徳島県板野郡上板町、代表取締役：酒井一誠）において採用されたドライバーに対し、四国エリア初となる「特定技能（自動車運送業分野）」の就労ビザが交付されたことをお知らせいたします。これにより、四国で初めてとなる「特定技能」による海外ドライバー人材が誕生。該当ドライバーはすでに日本への入国を完了しており、誠徳運輸での業務に従事する予定です。



出典：<https://www.sanyonews.jp/article/1850989>

# 徳島の青果農家、最低賃金上げで人件費 100万円増 苦渋の従業員削減

2025.08.05

今年度の最低賃金の目安は、過去最大の引き上げ額で決着した。各都道府県の審議会が目安を参考に上げ幅を決め、10月ごろから発効する。人件費増が見込まれる中小企業からは「これ以上は無理だ」という声上がる。徳島県で青果会社を営む男性（47）は、祖父の代から3代続く農家だ。県が全国3位の生産量を誇るレンコンのほか、サツマイモの「鳴門金時」やダイコンを栽培。約16ヘクタールの農地を持ち、生産や卸、加工にも取り組んでいる。



サツマイモの草取り作業をする徳島県の青果会社の従業員ら＝同社提供

出典：<https://mainichi.jp/articles/20250730/k00/00m/040/219000c>

# 徳島県内の主要50社、4割が外国人を雇用 ベトナム国籍が最多

2025.08.05

徳島県内の主要50社への調査で、約4割が外国人を雇用しており、ベトナム国籍が最多であることが分かりました。慢性的な人手不足の解消と、若手を中心とした優秀な人材の確保が主な目的です。県全体の外国人労働者数は過去最多の7,324人に達し、特に製造業や医療・福祉分野で技能実習生を中心に増加傾向にあります。雇用状況: 徳島県内の主要50社の約4割が外国人を雇用（ベトナムが最多）。県全体の動向: 外国人労働者数は7,324人（前年同期比13.5%増）、事業所数は1,400カ所（同7.8%増）で過去最多。主な職種と形態: 製造業（31.6%）が最多で、次いで医療・福祉（15.7%）など。在留資格は「技能実習」が44.1%を占める。背景: 少子高齢化に伴う人手不足解消と優秀な人材確保が主な目的。



徳島新聞

徳島県内の主要50社、4割が外国人...

# 国境超え 違い認め合う

2025.08.14

徳島市の阿波おどりで14日、米国やカナダ、ベトナムなどから県内に移住した人でつくる「あらそわ連」が南内町、両国本町の両演舞場で踊りを披露する。阿波弁の「争われん（争ってはいけない）」が連名の由来で、世界平和と共生を願って踊る。（南野々子）

「世界は一つ!」「あらそわ連!」。7月下旬、徳島市にある県国際交流協会の会議室にかけ声が響き、練習は熱気を帯びていた。県内の縫製工場で母国から来た技能実習生を束ねる役職に就くヴィさん。仕事の傍ら、2019年からコミュニティを運営し、日本語スピーチコンテストや清掃活動を企画している。主な交流ツールはフェイスブックで、グループには隣県在住も含めて1万人以上がいる。



あらそわ連のメンバーたちと練習に励むヴィさん（中央、徳島市で）

# 鳴門市でベトナム人技能実習生の寮が 全焼 けが人なし【徳島】

2025.11.17

1月17日夕方、ベトナム人技能実習生が住む従業員寮が全焼する火事がありました。けが人はいませんでした。火事があったのは、鳴門市大麻町の民家です。警察と消防によりますと、17日午後4時35分頃、近くを通りかかった人から「旧川崎小学校西側付近の住宅が燃えている」と119番通報がありました。消防がかけつけ、火は約2時間後に消し止められましたが、木造平屋建ての民家約133平方メートルが全焼しました。この民家は、ベトナム人技能実習生3人の従業員寮として使われていましたが、出火当時は、建物の中に誰もおらず、けが人はいませんでした。

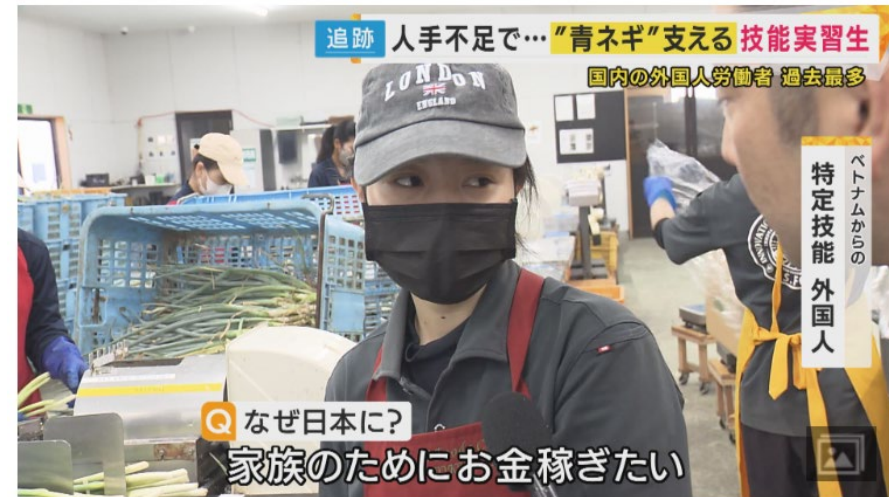


出典：<https://news.livedoor.com/article/detail/30005768/>

# 「ベトナムに帰れ！」暴力で失踪も 相次ぐトラブル 「技能実習制度」に悪質ブローカーの存在

2025.09.02

今、日本で働く外国人労働者が過去最多となっています。国内の外国人労働者が過去最多となる中、不法就労が相次いでいます。外国人を違法に働かせる“悪質ブローカー”や、職場のいじめなどで逃げ出す外国人も。日本で働きたいと来日するも去年、失踪した外国人は6500人以上。さまざまなトラブルが相次いでいる「技能実習制度」は、2027年に「育成就労制度」に制度が変わります。2027年に、要件を満たせば、実習生本人が望んだ場合も別の企業へ移ることができるようになるなど制度が変更されます【ジャーナリスト青山和弘さん】「今の技能実習制度は実習先を変えることができないんですね。非常に悪い業者に当たってしまった時に不満がたまりまますし、いい業者でも、自分と合っていないとか、もっと都会で働きたいとかいろんな事情で失踪につながりやすいことは間違いないと思います」この制度変更について、ベトナム人労働者を支援する団体の代表の吉水さんは、「名前が変わっただけ。困った若者の支援をどうするかが表に出ていない」と指摘しています。



出典：<https://www.ktv.jp/news/feature/250901-vietnam/>